

平成24年度
社会情勢の変化に応じた
二地域居住推進施策に関する検討調査

平成25年3月

国土交通省国土政策局地方振興課

調査の目的・構成

- 社会情勢の変化を踏まえた二地域居住・地域間交流に関する国民の意識変化を把握・分析する。
- 二地域就労に取り組む企業及び自治体の実態調査を行い、その可能性を検討する。
- 以上に基づき、二地域居住・地域間交流の推進を図る。

■調査の構成

第1章 本調査の目的と構成

- 第1節 調査の目的・背景
- 第2節 調査事項の概要
- 第3節 本調査報告書の構成

第2章 意識調査の実施・分析

第1節 調査の概要

第2節 調査結果

- スクリーニング調査—
 - ・30,000人 動向アンケート

第3節 調査結果

- 本調査—
 - ・2,000人 実践者・5年以内実施希望者アンケート

第3章 二地域就労の実態調査及び可能性の検討

- 第1節 企業の地域との関わり方の類型化
- 第2節 ヒアリングの実施
- 第3節 企業の地域との関わりを進める重要な要素と推進方策の検討

■二地域居住等意識調査の方法

- インターネットアンケートによる
- 平成25年1月26日(土)～29日(火)に実施
- 5年前の前回調査とほぼ同月日、同設問で実施
 - ・ただし、「二地域居住」等の対象を田舎暮らしに限らず、地方から大都市圏、中山間地から地方都市など、多様な移動を対象とする。
- 都道府県、年代、性別の3点で、平成22年国勢調査人口割合と回答者の割合を一致させる

■二地域就労実態調査の方法

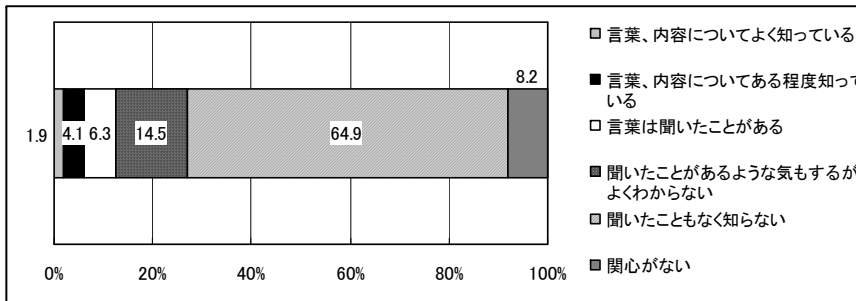
- 机上調査及びヒアリングによる
- 企業の動機に着目して、「Ⅰ. 異業種参入・ビジネス拡大」「Ⅱ. 再雇用・中高年社員活用」「Ⅲ. 福利厚生・研修」のために地域との関わりに取り組んでいる事例を抽出

「二地域居住」「移住・定住」の浸透状況、「他地域との交流」の状況

○「二地域居住」の内容までわかる人は5年前には7.5%いたものの6.0%に減り、「聞いたこともなく知らない」人が5年前からは大幅に増えて3分の1を占める。
 ○交流状況をみると、25日超交流する人が5.5%おり、制約が取り除かれれば「二地域居住」や「移住・定住」が促進される状態。年間10日程度(月1回程度)以上交流すると二地域居住等をいつかしたい人が増え、年間25日程度(月2回程度)以上になると5年以内にしたい人が増える。

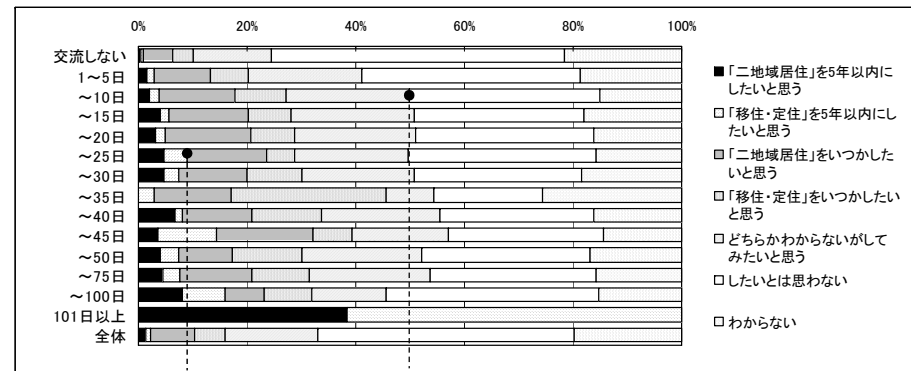
■「二地域居住」「移住・定住」の希望者

	n	%	(前回)n	%
言葉、内容についてよく知っている	547	1.9	491	1.8
言葉、内容についてある程度知っている	1,164	4.1	1,530	5.7
言葉は聞いたことがある	1,789	6.3	2,982	11.1
聞いたことがあるような気もするがよくわからない	4,100	14.5	6,018	22.3
聞いたこともなく知らない	18,334	64.9	14,574	54.1
関心がない	2,302	8.2	1,359	5.0
総数	28,236	100.0	26,954	100.0



■「他地域との交流」の状況

n %	「二地域居住」を5年以内に行いたいと思う	「移住・定住」を5年以内に行いたいと思う	「二地域居住」をいつかしたいと思う	「移住・定住」をいつかしたいと思う	「二地域居住」をいつかしてみたいと思う	「移住・定住」をいつかしてみたいと思う	「二地域居住」をいつかしてみたいと思わない	「移住・定住」をいつかしてみたいと思わない	わからない	全体
交流しない	85 0.5	84 0.5	873 5.2	666 4.0	2,431 14.4	9,078 53.9	3,615 21.5	16,832 100.0	63.4	63.4
1~5日	50 1.5	44 1.4	334 10.3	227 7.0	674 20.8	1,307 40.3	604 18.6	3,240 100.0	12.2	
~10日	57 1.9	56 2.0	407 13.9	273 9.3	669 22.8	1,026 35.0	445 15.2	2,335 100.0	11.1	
~15日	36 4.0	14 1.6	132 14.7	71 7.9	204 22.7	282 31.3	161 17.9	900 100.0	3.4	
~20日	31 3.1	18 1.8	155 15.7	80 8.1	220 22.3	325 32.9	159 16.1	988 100.0	3.7	
~25日	9 4.7	8 4.2	28 14.7	10 5.2	40 20.9	66 34.6	30 15.7	191 100.0	31.1	
~30日	34 4.6	20 2.7	92 12.5	75 10.2	151 20.6	227 30.9	135 18.4	734 100.0	2.8	
~35日	0 0.0	1 2.9	5 14.3	10 28.6	3 8.6	7 20.0	9 26.7	35 100.0	0.1	
~40日	10 6.8	2 1.4	19 12.8	19 12.8	32 21.6	42 28.4	24 16.2	148 100.0	0.6	
~45日	1 3.6	3 10.7	5 17.9	4 7.1	2 17.9	5 28.6	4 14.3	28 100.0	0.1	
~50日	7 4.0	6 3.5	17 9.8	22 12.7	38 22.0	54 31.2	173 16.8	173 100.0	4.2	
~75日	9 4.6	6 3.0	26 13.2	21 10.7	44 22.3	60 30.5	31 15.7	197 100.0	0.7	
~100日	10 8.0	10 8.0	9 7.2	11 8.8	17 13.6	49 39.2	19 15.2	125 100.0	0.5	
101日以上	5 38.5	8 61.5	0 2,102	0 1,487	0 4,528	0 12,531	0 5,265	13 26,539	0.0	1.3
全体	1.3	1.1	7.9	5.6	17.1	47.2	19.8	100.0	100.0	

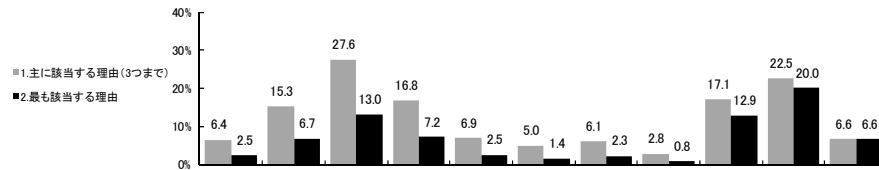


「二地域居住」「移住・定住」の実施理由

○「二地域居住」の実施理由には、「ゆとりのある暮らしをしたかった」と「親の介護や実家の管理をしなければならなかった」が多い。一方「移住・定住」は「親の介護や実家の管理」が多い。

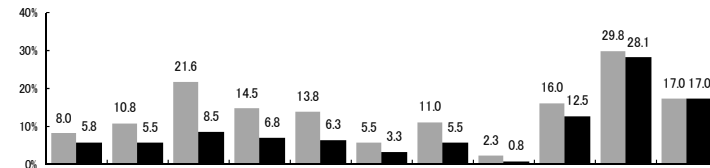
○属性別にみると、「二地域居住」と「移住・定住」ともに、「ゆとりのある暮らしをしたかった」と「親の介護や実家の管理をしなければならなかった」は年輩者ほど多い。

■「二地域居住」の実施理由



	自然災害によって被害を受けた	親戚や知人の近くで生活したかった	ゆとりのある暮らしをしたかった	利便性の高い暮らしをしたかった	子育て環境の良い地域に住みたかった	新たな土地で起業したかった	新たな職に就きたかった	地域貢献活動をしたかった	親の介護や実家の管理をしなければならなかった	その他	特に理由はない	n %
1.主に該当する理由(3つまで)	68	162	292	178	73	53	65	30	181	238	70	1,059
	6.4	15.3	27.6	16.8	6.9	5.0	6.1	2.8	17.1	22.5	6.6	100.0
2.最も該当する理由	26	71	138	76	27	15	24	9	137	212	70	1,059
	2.5	6.7	13.0	7.2	2.5	1.4	2.3	0.8	12.9	20.0	6.6	100.0

■「移住・定住」の実施理由



	自然災害によって被害を受けた	親戚や知人の近くで生活したかった	ゆとりのある暮らしをしたかった	利便性の高い暮らしをしたかった	子育て環境の良い地域に住みたかった	新たな土地で起業したかった	新たな職に就きたかった	地域貢献活動をしたかった	親の介護や実家の管理をしなければならなかった	その他	特に理由はない	n %
1.主に該当する理由(3つまで)	32	43	86	58	55	22	44	9	64	119	68	399
	8.0	10.8	21.6	14.5	13.8	5.5	11.0	2.3	16.0	29.8	17.0	100.0
2.最も該当する理由	23	22	34	27	25	13	22	3	50	112	68	399
	5.8	5.5	8.5	6.8	6.3	3.3	5.5	0.8	12.5	28.1	17.0	100.0

※理由については、いわゆる一般的な引越を除いている。

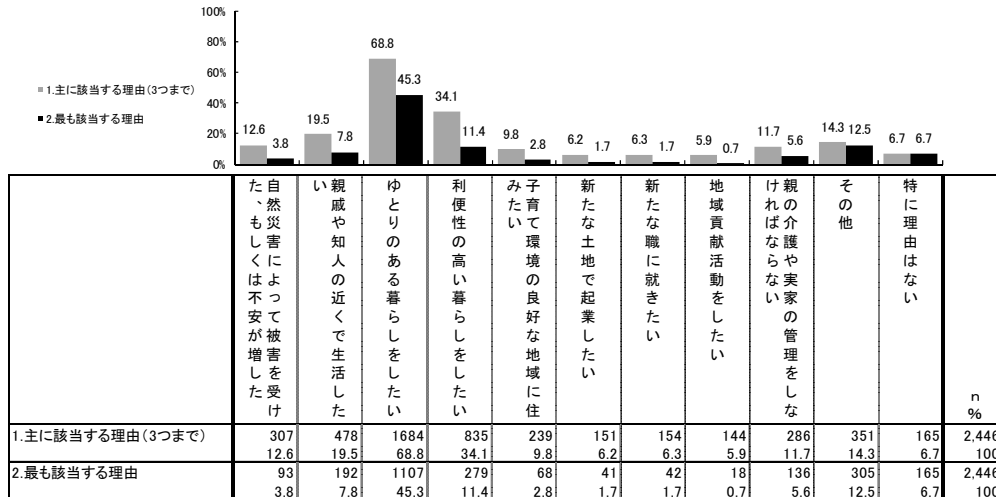
■「二地域居住」「移住・定住」の実施理由 <属性別、選択肢抜粋>

	n %	ゆとりのある暮らしをしたかった		親の介護や実家の管理をしなければならなかった	
		二地域居住実践者	移住・定住実践者	二地域居住実践者	移住・定住実践者
全体	399	53.7	34	13.7	50
	100.0	61.7	8.5	12.9	12.5
年代	82	7.38	4	8	4
	100.0	58.5	4.9	4.6	4.9
30代	77	10.97	3	16	5
	100.0	61.4	3.9	7.7	6.5
40代	72	11.12	6	21	11
	100.0	61.3	8.3	12.5	15.3
50代	94	11.64	9	30	15
	100.0	63.8	9.6	15.2	16.0
60代	74	12.86	12	62	15
	100.0	62.5	16.2	20.0	20.3

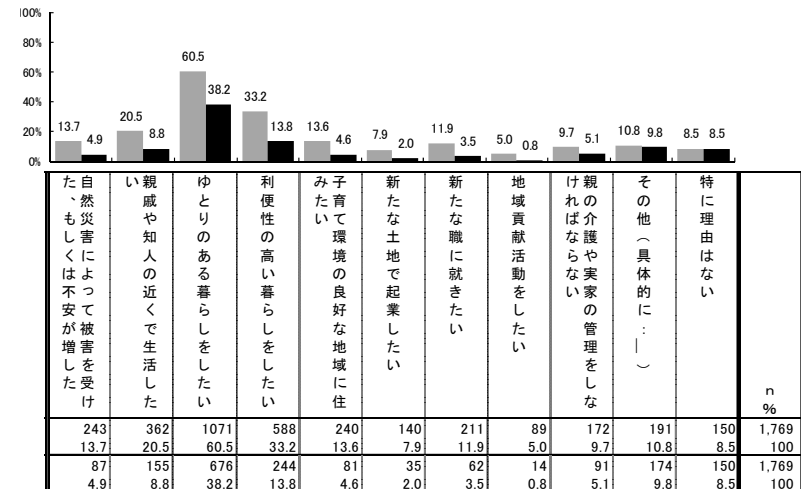
「二地域居住」「移住・定住」の希望理由

- 約4割が「ゆとりのある暮らしをしたい」を挙げ、「利便性の高い暮らしをしたい」人も多い。
- 「二地域居住」希望者は「移住・定住」の希望者よりも「ゆとりのある暮らしをしたい」人が多く、「利便性の高い暮らしがしたい」「子育て環境の良好な地域に住みたい」「新たな職に就きたい」人が少ない。
- 前頁の「実施理由」と比較すると、希望者は実践者よりも「介護」を理由とする人が少なく、希望としては認識していないが、予定や見込みとして認識している人はさらに存在すると考えられる。

■「二地域居住」の希望理由



■「移住・定住」の希望理由

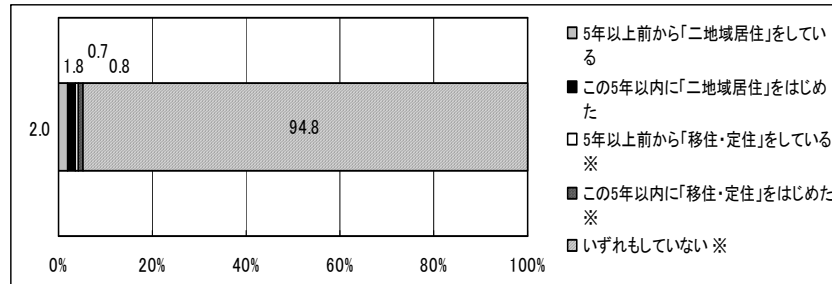


「二地域居住」「移住・定住」の実践状況、実施希望時期

- 「二地域居住」の実践者は、この5年間で2.0%から3.8%へとおおむね倍増した。また、「移住・定住(一般的な引っ越しを除く。)」の実践者も0.7%から1.5%へと倍増している。
- 未だいずれも実践していない人のうち、「5年以内に二地域居住」の希望者は1.3%、「5年以内に移住・定住」は1.1%。「どちらかわからないがしてみたい」を含めると希望者は33%を占める。

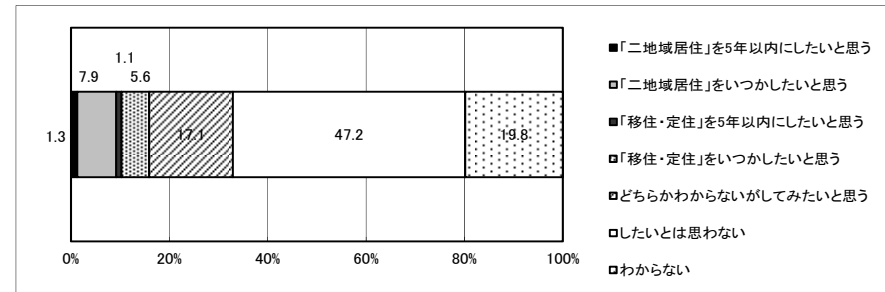
■「二地域居住」「移住・定住」実施状況

	n	%	(前回)n	%
5年以上前から「二地域居住」をしている	551	2.0	294	1.1
この5年以内に「二地域居住」をはじめた	508	1.8	230	0.9
5年以上前から「移住・定住」をしている ※	184	0.7	248	0.9
この5年以内に「移住・定住」をはじめた ※	215	0.8	404	1.5
いずれもしていない ※	26,778	94.8	25,778	95.6
総数	28,236	100.0	26,954	100.0



■「二地域居住」「移住・定住」の実施希望時期

	n	%	(前回)n	%
「二地域居住」を5年以内になりたいと思う	344	1.3	2,102	8.2
「二地域居住」をいつかしたいと思う	2,102	7.9	939	3.6
「移住・定住」を5年以内になりたいと思う	282	1.1	2,583	10.0
「移住・定住」をいつかしたいと思う	1,487	5.6	15,517	60.2
どちらかわからないがしてみたいと思う	4,528	17.1	4,637	18.0
したいとは思わない	12,531	47.2	25,778	100.0
わからない	5,265	19.8		
全体	26,539	100.0		



(第2章)意識調査の実施・分析

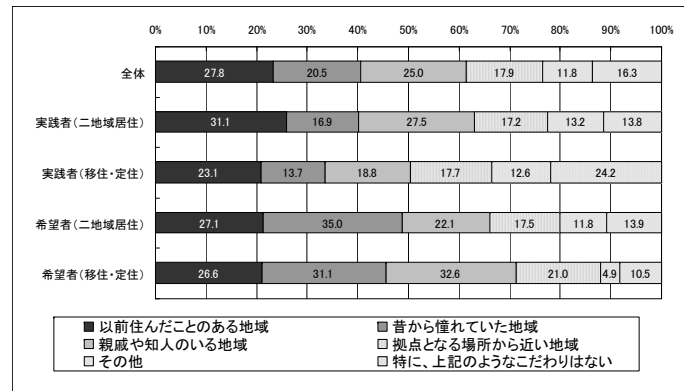
「二地域居住」「移住・定住」の希望場所

○希望者の3割強が「昔から憧れていた地域」としており、実践者よりも理想が語られている傾向が強くみられるが、実践者は、現実的に「以前住んだことのある地域」や「親戚や知人のいる地域」といった身近な地域へ行く人が多い。

○地方ブロック単位で移動希望を集計すると、ブロック内での移動希望は約3割に留まり、特に「二地域居住」希望者にブロックを越えた移動を希望する人が多い。

■希望場所と本人との関係

	n %	地 域	以 前 住 ん だ こ と の あ る 地 域	昔 か ら 憧 れ て い た 地 域	親 戚 や 知 人 の い る 地 域	拠 点 と な る 場 所 か ら 近	そ の 他	だ た わ り 、 上 記 の よ う な こ
全体	2,000 100.0	555 27.8	409 20.5	500 25.0	358 17.9	235 11.8	325 16.3	
実践者	二地域居住	899 100.0	280 31.1	152 16.9	247 27.5	155 17.2	119 13.2	124 13.8
	移住・定住	554 100.0	128 23.1	76 13.7	104 18.8	98 17.7	70 12.6	134 24.2
5年以内希望者	二地域居住	280 100.0	76 27.1	98 35.0	62 22.1	49 17.5	33 11.8	39 13.9
	移住・定住	267 100.0	71 26.6	83 31.1	87 32.6	56 21.0	13 4.9	28 10.5



■「二地域居住」の希望場所

居住地	短期居住地											回答数 計	回答者 数計		
	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	海外			特定地方なし	
長期居住地	北海道	9	0	4	0	1	0	0	0	4	6	0	24	13	
	東北	2	9	12	0	6	8	0	0	4	5	3	51	20	
	関東	14	12	54	7	26	15	10	6	17	21	41	14	237	95
	北陸	1	0	4	3	2	0	0	0	2	1	3	1	17	9
	東海	8	1	7	3	14	4	2	2	6	16	4	69	29	
	関西	10	0	8	1	4	31	5	7	9	8	11	3	97	46
	中国	2	2	8	2	5	5	7	7	4	5	7	3	57	18
	四国	0	0	4	0	0	1	2	1	0	1	2	0	11	15
	九州	3	0	10	0	2	3	0	0	17	4	5	4	48	14
	沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答数計	49	24	111	16	60	67	26	23	55	55	94	31	611	259	

居住地	短期居住地											回答数 計	回答者 数計	
	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	海外			特定地方なし
長期居住地	北海道	37.5	0.0	16.7	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0	0.0	100.0	
	東北	3.9	17.6	23.5	0.0	11.8	15.7	0.0	7.8	9.8	5.9	3.9	100.0	
	関東	5.9	5.1	22.8	3.0	11.0	6.3	4.2	2.5	7.2	8.9	17.3	5.9	100.0
	北陸	5.9	0.0	23.5	17.6	11.8	0.0	0.0	11.8	5.9	17.6	5.9	100.0	
	東海	11.6	1.4	10.1	4.3	20.3	5.8	2.9	2.9	2.9	8.7	23.2	5.8	100.0
	関西	10.3	0.0	8.2	1.0	4.1	32.0	5.2	7.2	9.3	8.2	11.3	3.1	100.0
	中国	3.5	3.5	14.0	3.5	8.8	8.8	12.3	12.3	7.0	8.8	12.3	5.3	100.0
	四国	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	9.1	18.2	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0	100.0
	九州	6.3	0.0	20.8	0.0	4.2	6.3	0.0	0.0	35.4	8.3	10.4	8.3	100.0
	沖縄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
回答数計	8.0	3.9	18.2	2.6	9.8	11.0	4.3	3.8	9.0	9.0	15.4	5.1	100.0	

■「移住・定住」の希望場所

居住地	新住所											回答数 計	回答者 数計		
	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	海外			特定地方なし	
現住所	北海道	5	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	9	5	
	東北	3	13	4	2	1	2	0	1	9	6	0	4	14	
	関東	19	4	62	8	14	23	6	12	16	21	36	5	226	75
	北陸	0	2	3	6	2	0	0	2	0	0	0	0	15	5
	東海	2	1	15	2	35	10	2	3	3	3	3	2	81	29
	関西	2	1	13	0	7	30	6	2	4	3	12	2	82	26
	中国	0	0	6	1	0	3	6	1	3	3	2	2	27	8
	四国	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	4	12
	九州	0	1	14	0	0	4	2	1	19	3	5	5	54	7
	沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
回答数計	31	22	120	19	59	73	22	23	48	43	64	16	540	182	

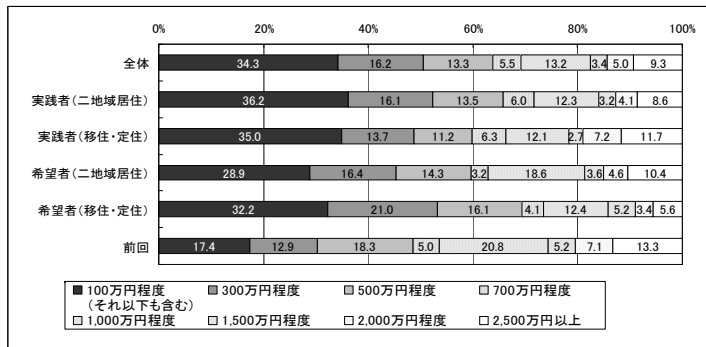
居住地	新住所											回答数 計	回答者 数計	
	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	海外			特定地方なし
現住所	北海道	5.6	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	100.0	
	東北	7.3	31.7	9.8	4.9	2.4	4.9	0.0	2.4	22.0	14.6	0.0	100.0	
	関東	8.4	1.8	27.4	3.5	6.2	10.2	2.7	5.3	7.1	9.3	15.9	2.2	100.0
	北陸	0.0	13.3	20.0	40.0	13.3	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	100.0	
	東海	2.5	1.2	18.5	2.5	43.2	12.3	2.5	3.7	3.7	3.7	3.7	2.5	100.0
	関西	2.4	1.2	15.9	0.0	8.5	36.6	7.3	2.4	4.9	3.7	14.6	2.4	100.0
	中国	0.0	0.0	22.2	3.7	0.0	11.1	22.2	3.7	11.1	11.1	7.4	7.4	100.0
	四国	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	九州	0.0	1.9	25.9	0.0	0.0	7.4	3.7	1.9	35.2	5.6	9.3	9.3	100.0
	沖縄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
回答数計	5.7	4.1	22.2	3.5	10.9	13.5	4.1	4.3	8.9	8.0	11.9	3.0	100.0	

「二地域居住」「移住・定住」の必要資金、住宅

- 実践者の約3分の1は「100万円程度以下」で実施しており、前回に比べ大幅に少額での実施・希望者が多い。「二地域居住」の希望者は実践者よりも多くの資金を用意する意識があることから、的確な情報の発信によって実践者の増加が期待できる。
- 空き家や分譲住宅の購入に関して、希望者は「500万円程度」の用意を考える人が多い。
- 「集合住宅を借りて住む」「空き家を借りる」で計39.4%を占め、「家を新築する」「分譲住宅を購入する」が計23.2%を占める。
- 希望者は「空き家を借りる・購入する」を実践者よりも多く望んでおり、ミスマッチが生じている。

■「二地域居住」「移住・定住」の必要資金

	n %	100万円程度 (それ以下も含む)	300万円程度	500万円程度	700万円程度	1,000万円程度	1,500万円程度	2,000万円程度	2,500万円以上
全体	2,000 100.0	686 34.3	323 16.2	266 13.3	109 5.5	263 13.2	68 3.4	99 5.0	186 9.3
実践者	二地域居住	899 100.0	325 36.2	145 16.1	121 13.5	54 6.0	111 12.3	29 3.2	37 4.1
	移住・定住	554 100.0	194 35.0	76 13.7	62 11.2	35 6.3	67 12.1	15 2.7	40 7.2
5年以内 希望者	二地域居住	280 100.0	81 28.9	46 16.4	40 14.3	9 3.2	52 18.6	10 3.6	13 4.6
	移住・定住	267 100.0	86 32.2	56 21.0	43 16.1	11 4.1	33 12.4	14 5.2	9 3.4
前回	1627 100.0	283 17.4	210 12.9	298 18.3	81 5.0	339 20.8	85 5.2	115 7.1	216 13.3



■「二地域居住」「移住・定住」を行う際の住宅

<希望者>

<実践者>

	n %	100万円程度 (それ以下も含む)	300万円程度	500万円程度	700万円程度	1,000万円程度	1,500万円程度	2,000万円程度	2,500万円以上
全体	547 100.0	167 30.5	102 18.6	83 15.2	20 3.7	85 15.5	24 4.4	22 4.0	44 8.0
新しく住む住宅の種類	ホテルに滞在する(よく利用している)	44 100.0	16 36.4	9 20.5	4 9.1	2 4.5	9 20.5	1 2.3	3 6.8
	集合住宅を借りて住む(借りて住んでいる)	131 100.0	57 43.5	24 18.3	17 13.0	3 2.3	14 10.7	3 2.3	11 8.4
	空き家を借りる(借りている)	119 100.0	49 41.2	30 25.2	12 10.1	2 1.7	20 16.8	0 0.0	4 3.4
	空き家になった実家等に住む(住んでいる)	36 100.0	13 36.1	9 25.0	7 19.4	1 2.8	5 13.9	1 2.8	0 0.0
	空き家を購入する(購入した)	71 100.0	1 1.4	6 8.5	19 26.8	2 2.8	15 21.1	10 14.1	6 8.5
	家を新築する(した)	59 100.0	5 8.6	7 12.1	8 13.8	5 8.6	13 22.4	6 10.3	10 17.2
	分譲住宅を購入する(購入した)	45 100.0	3 6.7	9 20.0	13 28.9	2 4.4	5 11.1	3 6.7	5 11.1
	上記以外のところを借りる(借りている)	27 100.0	16 59.3	5 18.5	1 3.7	2 7.4	2 7.4	0 0.0	1 3.7
	その他	16 100.0	7 43.8	3 18.8	2 12.5	1 6.3	2 12.5	0 0.0	1 6.3
	実践者	1453 100.0	519 35.7	221 15.2	183 12.6	89 6.1	178 12.3	44 3.0	77 5.3

※グレーは、平均よりも5ポイント以上高い箇所

「二地域居住」「移住・定住」の際の収入と活動

○1～2割程度の人が起業に関する障壁を挙げ、特に資金面を指摘している。実践者は希望者ほど障壁だったとは考えていないため、例えば外部の企業から、資金やノウハウ、人材やネットワークの紹介といった支援があれば、さらに地域での起業が進むと期待できる。

■就労や活動時の障壁・課題

<実践者>

	n	職の選択肢が少なく、やりたい仕事がない	求職情報が少ない、入手しづらい	起業したくても資金がない・融資が得られない	起業したくてもノウハウが不足している	起業したくても手伝ってくれる人や顧客が不足している	十分な収入が得られない	二地域居住・移住先で始める仕事では	その他	課題は当てる(現在抱えている)障壁や課題はない
全体	1453 100.0	368 25.3	225 15.5	157 10.8	125 8.6	66 4.5	162 11.1	61 4.2	612 42.1	
年代	20代	286 100.0	77 26.9	47 16.4	45 15.7	40 14.0	15 5.2	28 9.8	2 0.7	94 32.9
	30代	303 100.0	90 29.7	61 20.1	50 16.5	31 10.2	18 5.9	31 10.2	8 2.6	99 32.7
		40代	259 100.0	67 25.9	47 18.1	26 10.0	19 7.3	12 4.6	36 13.9	14 5.4
	50代	276 100.0	74 26.8	38 13.8	23 8.3	22 8.0	11 4.0	30 10.9	16 5.8	132 47.8
	60代	329 100.0	60 18.2	32 9.7	13 4.0	13 4.0	10 3.0	37 11.2	21 6.4	189 57.4

<希望者>

	n	職の選択肢が少なく、やりたい仕事がない	求職情報が少ない、入手しづらい	起業したくても資金がない・融資が得られない	起業したくてもノウハウが不足している	起業したくても手伝ってくれる人や顧客が不足している	十分な収入が得られない	二地域居住・移住先で始める仕事では	その他	課題は当てる(現在抱えている)障壁や課題はない
全体	547 100.0	154 28.2	95 17.4	76 13.9	64 11.7	34 6.2	87 15.9	25 4.6	182 33.3	
20代	168 100.0	43 25.6	31 18.5	38 22.6	29 17.3	7 4.2	21 12.5	7 4.2	44 26.2	
	103 100.0	38 36.9	21 20.4	15 14.6	12 11.7	12 11.7	17 16.5	5 4.9	25 24.3	
30代	77 100.0	22 28.6	14 18.2	11 14.3	9 11.7	7 9.1	7 23.4	3 3.9	18 24.7	
	86 100.0	28 32.6	16 18.6	4 4.7	7 8.1	2 2.3	13 15.1	3 3.5	37 43.0	
40代	113 100.0	23 20.4	13 11.5	8 7.1	7 6.2	6 5.3	18 15.9	7 6.2	57 50.4	

※グレーは、平均よりも5ポイント以上高い箇所

企業の地域との関わりの状況

- 地域が不足する「ヒト・モノ・カネ」の各要素を企業の力を借りて補完し、逆に、企業が地域との関わりを通して恩恵を得ている取組みを抽出し、ヒアリングを実施。
- 企業及び地域においては、それぞれが自ら連携体制を構築して事業を展開するのは難しいため、啓発、企画立案支援、マッチング、資金的支援を総合的に行う中間支援が重要。

■地域におけるニーズ

ヒト の補完	<ul style="list-style-type: none"> ・不足する専門能力を有する人材や、労働力としての人材を補完 ・すなわち、不足するノウハウや専門知識、ネットワークを補完
モノ の補完	<ul style="list-style-type: none"> ・不足する資源を補完 ・商品生産にあたって必要となる設備について、企業のものを使用
カネ の補完	<ul style="list-style-type: none"> ・不足する資金を、プロジェクトに対する融資や出資などにより補完 ・企業の資金で支店や工場棟を建設してもらう

■企業が地域との関わりによって得る恩恵

I.異業種参入・ ビジネス拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が、事業の拡大・安定化に向けて、本業の拡大や新たに異業種に参入するタイプ
II.再雇用・中高 年社員活用	<ul style="list-style-type: none"> ・生産年齢人口の減少や社員の高年齢化に伴い、企業の人件費の管理・適正化として、社員の数を管理するタイプ
III.福利厚生・研 修	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の健康管理、スキルアップやコミュニケーションなど、人材や組織の質に着目して適正な状態を保持・増進するタイプ

(ハード整備を伴う連携等を除く。)

中間支援が必要

・地域の課題を把握し、企業との連携によって不足する資源を確保しうることが啓発

・地域との関わりによって企業の発展や課題解決につながりうることを啓発

・ニーズが合い、双方が恩恵が得られる組合せでマッチング
(プロジェクトの具体提案、調整、詳細検討支援)

・プロジェクトの検討や事業実施時の調整・初動期支援
(ネットワークの紹介、技術的支援、資金的支援)

企業と地域が関わりを進める際の手順・取組み

- 中間支援組織が核となってマッチング・進行管理しながら、地域と企業双方の主体性に基づいて事業を企画・実施。(中間支援的な機能を地域か企業において担うことも可能。)
- 地域と企業の双方が人材と体制を整え、自治体の支援を受けつつ企業の資金を用いて、双方が恩恵・利益を得ながら事業を持続的に展開。

■求められる手順・取組み

重要な手順	取組みと展開すべき主体		
	地域・自治体	中間支援組織	企業・社員
1.企業が地域との関わりを発想するため	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と企業の関わり意義を啓発 ■行政による中間支援組織への助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と企業の関わり意義を啓発 ・事例紹介 	
2.具体的な事業を企画・実行するため	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ニーズや課題のまとめ、依頼 ・行政による企画検討支援 ■協議時の交通費の支援 ■行政によるプロジェクトへの助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・想定されるプロジェクトの企画・提示 ・地域と企業のマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業のニーズや課題の提示 ■資金的支援(地域への初期投資等) ○(異業種参入時)社長を先頭に技術社員を配置 ○連携事業を企画できる社員の配置
3.企業が地域に溶け込むために	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内連携の強化、交流イベントの開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのネットワークの構築(企業として、社員個人として) ○地域と溶け込める社員の派遣
4.会社が社員の協力を得て地域と関わる形で従事してもらうために	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ体制の充実 ・市民への周知、協力依頼 		<ul style="list-style-type: none"> ・社員間での会社方針の共有・浸透 ・出向制度の確立、制度の安定的運用 ・(中高年層活用時)人事方針と制度づくり・明確化 ・家族に対するサポートの充実 ○家庭の理解が得られる社員
5.事業が持続するために	<ul style="list-style-type: none"> ■地域と企業の利益分配 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業や連携体制のマネジメント ■成功報酬等による運営費の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の戦略的な計画づくり、実践 ■地域と企業の利益分配

人の誘致・移動促進方策

○人の誘致・移動促進にあたっては、企業との連携も含めた形で、情報発信や地域における環境整備、資金確保・費用負担、中間支援組織の整備が求められる。

■人の誘致・移動促進方策

	二地域居住(アンケートより)	企業と地域の関わり(ヒアリングより)
情報発信	・「二地域居住」や「移住・定住」の事例や実践方法に関する情報の発信、啓発 (実施にあたっての正確な情報の発信 等)	・企業と地域の新たな関わりが各々の発展や課題の解消しうることの企業と地域への発信
資金確保・費用負担	・「二地域居住」や「移住・定住」の実践にあたって負担となっている交通費に対する資金的支援 (助成、控除、交通事業者への協力依頼 等)	・雇用創造に向けた、移住者が取り組む起業に対する資金的支援 (助成、融資あっせん、地域応援ファンド、ふるさと納税の活用 等)
地域における環境整備	・「二地域居住」や「移住・定住」を決める重要な要素である、住宅や雇用、魅力的な活動の場の整備、提供	・企業における地域との関係づくりに対する不安の払しょくに向け、自治体と連携しながら地域の合意形成や協力の徹底を推進
中間支援組織の整備	・「二地域居住」「移住・定住」希望者に対する地域内の仕事と住宅の情報の一元化とマッチング (紹介、あっせん、仲介)	・企業と地域の関わり構築のために、双方のニーズを把握したうえで具体的な事業を企画してマッチング。 (事業展開中も、事業自体の進行と連携体制の状況をマネジメント 等)